

三重県議会 トップセミナー

三重県議会トップセミナーは、議員の政策形成能力の向上を図り、県議会での政策議論の充実や深化につなげていくことを目的に開催しています。

第2回は10月26日に開催し、本県で策定が予定されている新エネルギービジョン等の審議に反映させるため、三重大学大学院地域イノベーション学研究所教授の坂内正明氏と中部電力株から「エネルギー政策の現状と課題について」をテーマに、ご講演をいただきました。

第3回は12月16日に開催し、議会が条例を策定する際に求められる政策立案能力の向上のため、衆議院法制局から「議員による条例づくりのススメ」をテーマに、最近成立した復興基本法などの事例を通じ、議員立法の重要性や議会の役割について、ご講演をいただきました。

都道府県議会議員 研究交流大会

11月15日、東京において、全国の都道府県議会議員が集ま

り、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行う、第11回都道府県議会議員研究交流大会が開催されました。

テーマ別に5つの分科会に分かれ意見交換を行いました。分科会と住民との関係強化をテーマとした第4分科会では、広聴広報会議議長である中村進一、副議長がパネリストとして出席し、三重県議会における広聴広報の取り組みについて説明しました。

会場からは、「みえ現場de県議会」で出された意見の集約方法「広報予算の確保」「広報紙の編集方法」などについての質問が寄せられました。

「みえ県民力ビジョン及び行動計画（仮称）（中間案）」並びに「三重県行財政改革取組（素案）」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

11月4日、正副議長および各行政部門別常任委員長から知事に対し、「みえ県民力ビジョン及び行動計画（仮称）（中間案）」並びに「三重県行財政改革取組

（素案）」に基づく今後の「県政運営」等に関して、次のとおり申し入れを行いました。

①「みえ県民力ビジョン及び行動計画（仮称）（中間案）」について

- ・三重の強みや良さを基本構想における現状認識にも打ち出すなど、さらなる現状分析に努めること
- ・政策体系や施策の概要について、基本理念で示された新しい考え方を十分反映させることで変化が感じられる内容にすること
- ・幸福実感指標について、その位置づけを明らかにするとともに、内容については十分検討すること

②「三重県行財政改革取組（素案）」について

- ・「人づくりの改革」では、現場主義を重視し、職員の意識改革や行動改革に取り組むこと
- ・「財政運営の改革」では、多様な財源確保対策に積極的に取り組むこと
- ・「仕組みの改革」では、県民センターや地域機関の在り方など、組織づくりを含め検討すること

③「三重県版事業仕分け（公開仕分け）」について

- ・今後、事業仕分けを実施する場合には、仕分け対象事業の選定に当たり、民間の方を含めるなど、より透明性、客観性のある仕組みを検討すること
- ・それぞれの現場の声や、当事者の意見にも十分配慮したうえで、来年度予算に向けた議論をするとともに、議会における政策議論を十分に勘案し、慎重に判断すること

